

漁海況情報

2012年(平成24年)10月 第479号

最新情報提供：沖縄県水産海洋研究センターURL: <http://www.pref.okinawa.jp/fish/>
E 海況案内人のページを参照してください。

沖縄県水産海洋研究センター
901-0305 沖縄県糸満市西崎1丁目3番1号
電話 098-994-3593・3597
FAX 098-995-2357
携帯電話からのアクセスはこちらへ(QRコード)↓

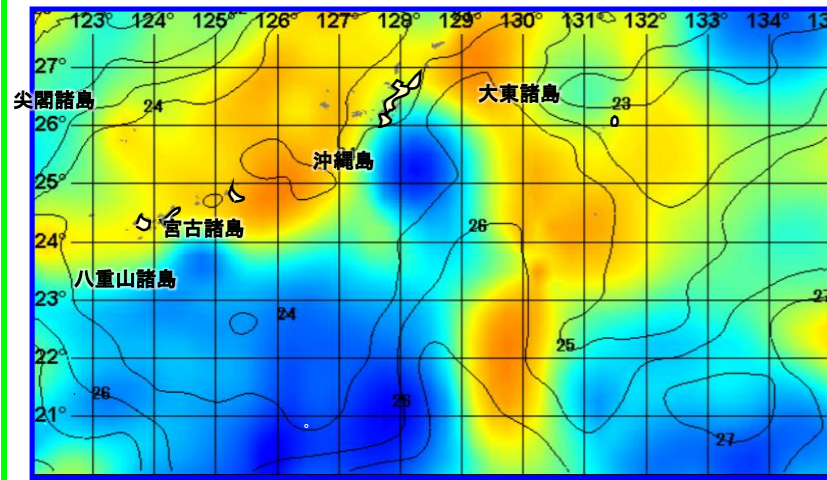


図1. 表面水温(等温度線)・海面高度分布(塗り分け)図(2012年12月1日)

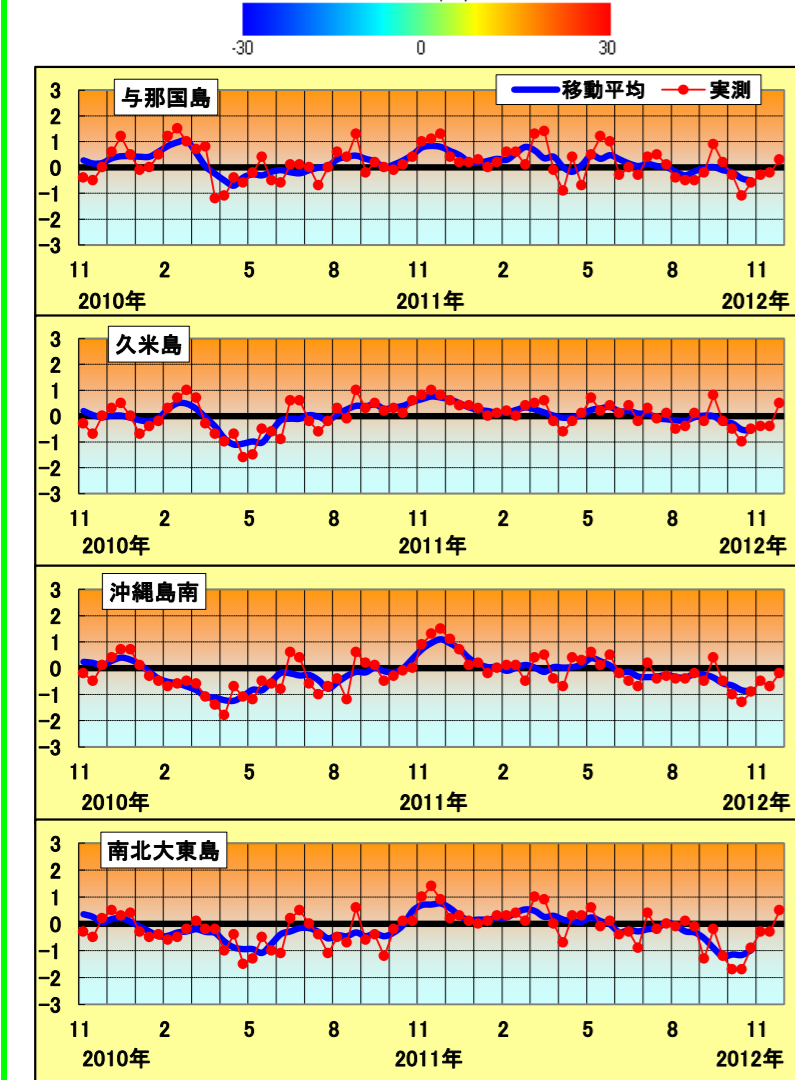
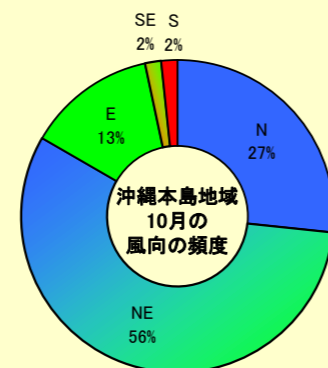


図2 沖縄近海における表面水温偏差(目盛りは旬)

N 水温：11月の水温は、全般に低めであった10月から、概ね平年並み(±0.5°程度)になったが、沖縄島南および久米島では比較的に低めであった。今後1ヶ月の水温は概ね平年並み(±0.5°C程度)で、大東諸島近海では、やや低めから低め(-0.5~-1.0°C)で推移する見込み。
潮流：久米島近海での黒潮の流軸は平均的な位置にある。一方で、先月から引き続き、喜屋武岬南から石垣島東沖にかけて、南東向けの比較的強い流れが発生している模様。

参考資料
海水温・海流1ヶ月予報：11月30日気象庁地球環境・海洋部発表
西日本海区別海況情報：12月2日発表長崎海洋気象台
沖縄県地方1か月予報：10月26日沖縄気

11月下旬の表面水温平年偏差	
与那国	平年並み
久米島	やや高め
沖縄島南	平年並み
大東島	やや高め



漁況

パヤオ漁業：沖縄島南部海域では、キハダ、シビ、シイラ、伊良部ではシビ、キハダの水揚げが多かった。

表1 10月のパヤオ漁業の漁協別漁獲量(t)

魚種名	糸満	港川	知念	沖縄市	南部計	伊良部	県内パヤオ総漁獲量
シイラ	3.9	2.1	1.0	1.7	8.6	3.6	18.7
クカジキ	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	3.0
沖サワラ	0.4	0.1	0.1	0.2	0.8	0.1	1.7
カツオ	0.3	0.0	0.0	0.0	0.4	3.5	4.0
キハダ	6.8	0.6	4.6	3.6	15.5	11.1	31.3
シビ	4.3	3.2	0.9	4.2	12.7	12.0	26.8
メバチ	1.4	0.0	0.7	0.3	2.3	0.0	2.9
計	17.1	6.0	7.4	10.0	40.4	30.3	88.3

※合計の15%以上を占める魚種の背景に色を付けて強調している。

表2 6~10月のキハダ(10kg以上)漁獲量(t)

年/月	6月	7月	8月	9月	10月	6-10計
2008年	9.3	13.1	30.7	21.0	26.1	100.2
2009年	40.5	25.9	38.3	33.8	17.1	155.6
2010年	65.5	36.4	56.1	27.3	63.5	248.8
2011年	24.3	47.8	26.1	38.5	17.8	154.4
2012年	26.7	34.1	37.3	34.0	15.5	147.6

表3 6~10月のシビ(10kg未満)漁獲量(t)

年/月	6月	7月	8月	9月	10月	6-10計
2008年	21.8	26.3	19.1	20.0	25.8	113.1
2009年	16.6	19.0	27.5	21.5	6.7	91.3
2010年	9.9	12.2	16.7	26.4	16.9	82.0
2011年	12.9	12.2	12.3	17.3	16.9	71.6
2012年	12.8	18.8	15.2	25.9	12.7	85.4

表4 6~10月のシイラ漁獲量(t)

年/月	6月	7月	8月	9月	10月	6-10計
2008年	1.2	0.4	1.8	3.1	7.4	13.8
2009年	1.8	0.3	5.1	3.5	6.0	16.7
2010年	6.8	0.6	1.1	2.0	2.9	13.4
2011年	12.9	0.5	0.8	6.2	11.2	31.6
2012年	2.3	0.2	0.6	2.0	8.6	13.7

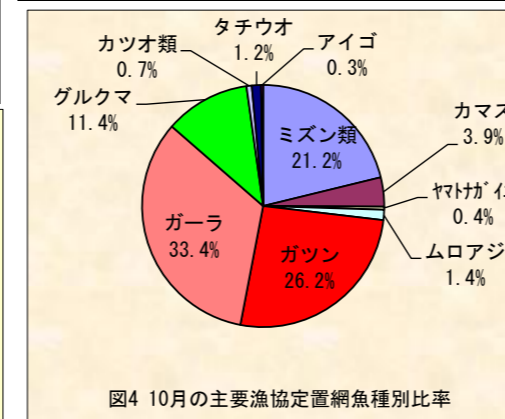


図4 10月の主要漁協定置網魚種別比率

定置網：10月の全体の漁獲状況は、3,962.6kgで先月(1,956.3kg)と比べて2,006.3増加した。ガーラの漁獲が全体の33.4%、ガツンが26.2%、ミズン類が21.2%を占めた(表5、図4)。



オオスジヒメジ(かたかし)

糸満ではキハダ(10kg以上)が6.8t、シビが4.3t、シイラが3.9t漁獲された。港川ではシビが3.2t、シイラが2.1t漁獲された。知念ではキハダが4.6t漁獲された。沖縄市ではシビ4.2t、キハダが3.6t、シイラが1.7t漁獲された。伊良部ではシビが12.0t、キハダが11.1t漁獲された(表1)。

沖縄本島南部海域における過去5年間の6~10月期のキハダ、シビおよびシイラの漁獲量を表2~4に示した。更に過去4年間の1~12月期のキハダの漁獲量を図3に示した。

10月のキハダの漁獲量は、15.5tで9月(34.0t)に比べて18.5t漁獲量が減少、昨年(17.8t)と比較すると2.3t下回った(表2、図3)。シビの漁獲量は9月(25.9t)と比べて13.2t減少した(表3)。シイラの漁獲量は9月(2.0t)と比べて6.6t増加した(表4)。

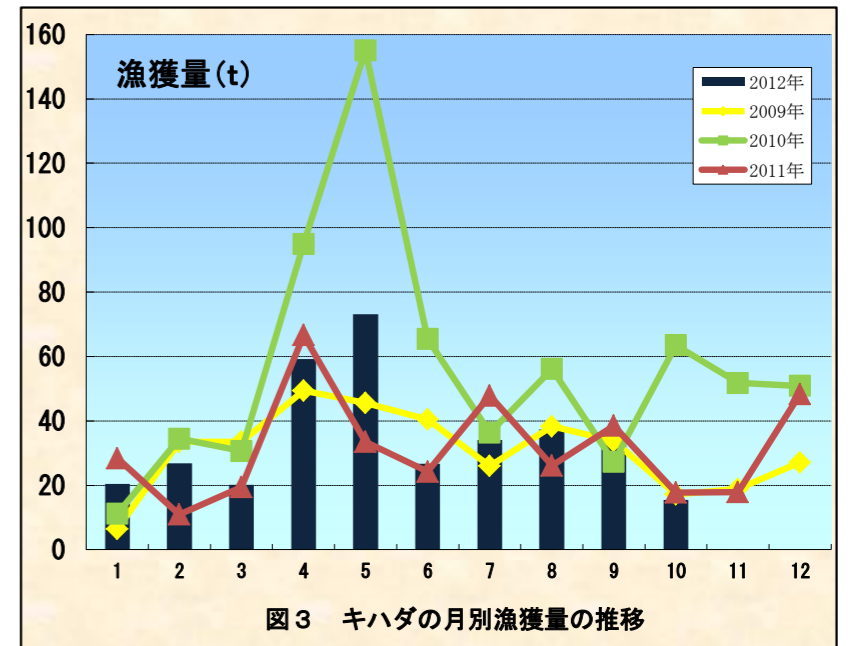


図3 キハダの月別漁獲量の推移

表5 10月の定置の主要魚種別漁獲量(kg)

魚種名	大型定置				小型定置				合計	県内定置総漁獲量
	読谷	知念	石川	金武	名護	勝連	与那城	金武		
ミズン類	219.3	3.7	0.0	0.0	400.8	0.9	203.0	0.0	827.7	827.7
カマス	58.1	51.9	0.0	0.0	21.4	19.9	1.0	0.0	152.3	152.3
ヤマトガイ	11.6	3.0	0.0	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0	15.9	15.9
ムロアジ	48.1	0.6	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0	0.0	53.7	53.7
ガツン	810.5	100.1	0.0	46.9	13.5	35.7	15.0	0.0	1,021.7	1,021.7
ガーラ	440.7	581.6	0.0	34.8	43.3	201.8	2.2	0.0	1,304.4	1,329.4
グルクマ	177.0	212.2	0.0	0.0	14.6	41.1	0.0	0.0	444.9	444.9
カツオ類	11.5	9.6	0.0	0.0	6.5	0.0	0.0	0.0	27.6	27.6
タチウオ	1.8	17.3	0.0	0.0	1.5	26.5	1.0	0.0	48.1	48.1
アイゴ	0.0	1.7	0.0	0.0	1.1	2.8	4.9	0.0	10.5	41.3
合計	1,778.6	981.7	0.0	81.7	509.0	328.7	227.1	0.0	3,906.8	3,962.6

※合計の15%以上を占める魚種の背景に色を付けて強調している。